

事業概要

(平成9年度のまとめ)

京都府立図書館

目 次

1. 平成9年度の主な動き	1
2. 利用状況	3
(1) 個人貸出	3
(2) 個人貸出登録	3
(3) 1日平均個人貸出	3
(4) 「図書館資料広域貸出事業」による大量貸出	4
(5) 「貸出文庫事業」による大量貸出	4
(6) 図書館間相互貸借	5
(7) 読書相談	7
(8) 複写利用	7
(9) 他の図書館等の資料複写サービスの利用	7
(10) 連絡協力車の利用	7
(11) その他	8
3. 図書館資料	9
(1) 図 書	9
○蔵書冊数	9
○分類別冊数	10
(2) 逐次刊行物	11
4. 沿 革	12
5. 経 費	18
6. 組 織	19
7. 施設の概要	19
8. 利用案内	20

1. 平成9年度の主な動き

府立図書館は、府域における中核的図書館として、府民の生涯学習を援助するとともに、市町村立図書館等への支援の役割をもつ広域図書館として、府内市町村と協力しながら公共図書館事業を進めている。

なお、平成9年度の本館は新館整備のため休館中（平成9年4月1日～）である。

（蔵書数）

本年度中の資料収集については、寄贈図書4,093冊を含め12,137冊を受け入れ、蔵書冊数は462,946冊となった。（ただし、宮津・峰山両地方分館の蔵書は、地元市町へ移管）

〈9頁参照〉

（図書館協力貸出）

市町村立図書館等からのリクエストによる当館からの貸出冊数は10,568冊となった。この事業はすでに定着している。

〈5頁参照〉

（図書館資料広域貸出事業）

府内全域における図書館活動の振興をめざして、図書館未設置町村での図書館資料の利用を図るため、町村設置の読書施設へ大量に図書を貸出す事業を平成元年度から実施している。本年度は事業既実施の3町に最終の補充貸出を行った。

平成9年度末現在では21町村に111,000冊の図書を貸出している。

〈4頁参照〉

（連絡協力車の運行）

平成7年8月からは、府内44全ての市町村へ月2回運行している。

図書館相互貸借等の図書約40,000冊を搬送するとともに読書施設への助言やその他運営相談に応じた。

「連絡協力者だより」を発行し、市町村との連携を一層強めた。

〈8頁参照〉

（新館準備作業）

平成12年度中の新館開館に向けて、府立図書館本館の蔵書の遡及データ化作業のうちバーコードラベルの貼付及びMARCの検索委託を行った。

又「情報ネットワークシステム詳細設計」が完了した。

資料及び利用の状況（平成9年度）

収集資料	図書 12,137冊	蔵書冊数	本館 428,539冊
	逐次刊行物 1,446タイトル		中京分館 34,407冊
			計 462,946冊
貸出状況	個人貸出	(休館中)	
		中京分館 20,300人	48,102冊
		小計 20,300人	48,102冊
	市町村貸出		
		図書館資料広域貸出 21町村 111,000冊 (うち継続109,500冊)	
		貸出文庫 22市町村 40,545冊	
		協力貸出 44市町村 59館(室) 10,363冊	
	特別貸出 2市町 73冊		
	小計	161,981冊	
その他の貸出			
	府内学校図書館等への協力貸出 12施設 191冊		
	他府県図書館等への協力貸出 7施設 14冊		
	特別貸出 1件 77冊		
	小計	282冊	
総貸出冊数			210,365冊
調査相談(本館)	府内市町村立図書館(室)から 1,758件		
	その他の図書館等から 415件		
	個人等から 32件		
			計 2,205件
複写利用(本館)	(休館中)		
本館入館者数	(")		

2. 利用状況

(1) 個人貸出

館名 \ 区分	登録者数	貸出者数	貸出冊数
本館	(休館中)		
中京分館	1,495 ^人	20,300 ^人	48,102 ^冊
計	1,495	20,300	48,102

(2) 個人貸出登録

館名 \ 区分	一般	学生・生徒	児童	合計
本館	(休館中)			
中京分館	1,238 ^人	257 ^人	— ^人	1,495 ^人
計	1,238	257	—	1,495

(3) 一日平均個人貸出

館名 \ 区分	開館日数	一日平均貸出者数	一日平均貸出冊数
本館	(休館中)		
中京分館	284 ^日	71 ^人	169 ^冊

(4) 「図書館資料広域貸出事業」による大量貸出

(単位：冊)

	継 続 貸 出 分	補 充 分		継 続 貸 出 分	補 充 分
和 束 町	5,000		久 美 浜 町	6,000	
瑞 穂 町	5,000		笠 置 町	5,000	
三 和 町	5,000		夜 久 野 町	5,000	
京 北 町	5,000		加 悦 町	5,000	
丹 波 町	5,000		岩 滝 町	5,000	
日 吉 町	5,000		丹 後 町	5,000	
南 山 城 村	5,000		弥 栄 町	5,000	
伊 根 町	5,000		大 山 崎 町	5,500	500
野 田 川 町	6,000		八 木 町	5,500	500
大 宮 町	6,000		和 知 町	4,500	500
網 野 町	6,000		小 計	109,500	1,500
			計	111,000冊	

図書館活動の振興を図るため、元年度から新規事業として実施したもので、図書館未設置町村に一定要件が充たされれば図書を一括大量に貸出すとともに、次年度から4年間は補充貸出も行うもので、平成9年度で補充貸出は終了した。

(5) 「貸出文庫事業」による大量貸出

市 町 村 名	貸 出 冊 数	市 町 村 名	貸 出 冊 数
大 山 崎 町	400 冊	福 知 山 市	1,055 冊
井 手 町	5,000	舞 鶴 市	1,705
山 城 町	6,800	夜 久 野 町	599
和 束 町	2,000	三 和 町	1,025
南 山 城 村	3,199	宮 津 市	8
宇 治 田 原 町	1,669	伊 根 町	1,500
笠 置 町	200	網 野 町	503
京 北 町	800	峰 山 町	2,462
美 山 町	5,666	弥 栄 町	148
八 木 町	2,045	大 宮 町	2,217
瑞 穂 町	544	久 美 浜 町	1,000
		合 計 (3市18町1村)	40,545

(5) 図書館間相互貸借

最近の府内市町村立図書館・読書施設等の整備充実と住民の資料要求の高まりにより、府立図書館へ資料の援助が求められている。昭和58年6月から図書館相互貸借を本格化し、定着している。

① 他館への協力貸出

	館 数	冊 数
市町村立図書館等への貸出 ※	59	本館から 9,157
		中京分館から 1,206
府内学校図書館等へ貸出	12	本館から 176
		中京分館から 15
他府県図書館等へ貸出	7	本館から 14
		中京分館から 0
計	78	10,568
前 年 度	105	15,546

② 特別貸出 宮津市立図書館他 2件 150冊

③ 借受提供

	件 数	冊 数	備 考
府内市町立図書館等から	73	121	
国立国会図書館から	1	1	
他府県図書館等から	23	33	
計	97	155	
前 年 度	220	283	

※ 市町村立図書館等への協力貸出の内訳（本館分のみ）

市 町 村 名	貸 出 冊 数	市 町 村 名	貸 出 冊 数
向 日 市	150	日 吉 町	249
長 岡 京 市	103	瑞 穂 町	362
大 山 崎 町	239	和 知 町	102
宇 治 市	197	綾 部 市	516
城 陽 市	377	福 知 山 市	131
八 幡 市	151	舞 鶴 市	465
久 御 山 町	75	三 和 町	262
京 田 辺 市	111	夜 久 野 町	57
井 手 町	21	大 江 町	1
宇 治 田 原 町	62	宮 津 市	298
山 城 町	211	加 悦 町	172
木 津 町	160	岩 滝 町	25
加 茂 町	812	伊 根 町	61
笠 置 町	83	野 田 川 町	80
和 束 町	319	峰 山 町	217
精 華 町	709	大 宮 町	305
南 山 城 村	221	網 野 町	193
京 北 町	124	丹 後 町	199
美 山 町	138	弥 栄 町	20
亀 岡 市	202	久 美 浜 町	171
園 部 町	126	京 都 市	469
八 木 町	3	計 44市町村	9,157冊
丹 波 町	208	前年度 44市町村	13,246冊

(7) 読書相談（レファレンス）

本館での読書相談は休館のため、府内市町村立図書館・読書施設からの相談がほとんどであるが、個人から文書による相談もあった。

平成9年度の相談件数は次のとおりである。

区分 事項	来館者相談		電 話	文 書	計	前 年 度
	資料調査	利用案内				
読書相談件数 (うち児童室)	(休館中)		2,173 (549)	32	2,205 (549)	5,761 (725)

(8) 複写利用

利用人員	複写枚数	1日平均 利用人員	1日平均 複写枚数
(休 館 中)			
前年度 3,908人	32,516枚	14人	116枚

(9) 他の図書館等の資料複写サービスの利用

	件 数	点 数	備 考
国会図書館から	0	0	
他府県図書館等から	2	2	いずれも大学図書館
計	2	2	
前 年 度	20	33	

(10) 連絡協力車の運行

府内の各図書館等との資料の相互貸借、情報交換、技術指導・助言、資料の収集等を行なうため、次のとおり6コースに分け44市町村の図書館・読書施設へ運行している。平成9年度は各コース月2回運行し、合計120回の運行を実施した。（ただし、約2ヶ月間移転等のため運行を休止した。）

(ア) コース

- Aコース：府立図書館 — 亀岡市立図書館 — 八木町立郷土資料館図書室 — 園部町立園部図書館 — 日吉町ふるさと文庫 — 和知町立ふれあいセンター図書室 — 丹波町中央公民館図書室 — 瑞穂町教育委員会 — 府立図書館
- Bコース：府立図書館 — 八幡市立八幡市民図書館 — 京田辺市立中央図書館 — 精華町立図書館 — 木津町中央図書館 — 加茂町立図書館 — 和束町体験交流センター図書室 — 笠置町中央公民館図書室 — 南山城村図書室 — 府立図書館
- Cコース：府立図書館 — 宇治市中央図書館 — 宇治田原町立図書館 — 井手町図書館 — 山城町立図書館 — 城陽市立図書館 — 久御山町立図書館 — 大山崎町中央公民館図書室 — 長岡京市立図書館 — 向日市立図書館 — 府立図書館
- Dコース：府立図書館 — 京都市中央図書館 — 京北町文化センター図書室 — 美山町立図書館 — 府立総合資料館 — 府立図書館中京分館 — 府立図書館
- Eコース：府立図書館 — 綾部市図書館 — 福知山市立図書館 — 夜久野町教育文化会館図書室 — 大江町図書館 — 岩滝町中央公民館図書室 — 伊根町教育委員会 — 宮津市立図書館 — 舞鶴市立図書館（東・西） — 府立図書館
- Fコース：府立図書館 — 加悦町中央公民館図書室 — 野田川町中央公民館図書室 — 大宮町中央公民館図書室 — 峰山町立図書館 — 弥栄町中央公民館図書室 — 丹後町中央公民館図書室 — 網野町生涯学習センター図書室 — 久美浜町教育委員会図書室 — 三和町図書室 — 府立図書館

(イ) 搬送の内訳

相互貸借図書 36,043冊（市町村への搬入11,292冊 市町村からの搬出11,879冊
市町村相互12,872冊）

広域貸出事業図書 1,286冊

寄贈図書等 2,124冊

(11) その他

- 「連絡協力車だよりNo64～No73」を刊行した。

3. 図書館資料

平成9年度における図書館資料は次のとおりである。

(1) 図 書

○ 蔵書冊数

館名	区分	平9.4.1 現在 蔵書数	受入冊数	内 訳			館 移	内 動	払 出	平10.3.31 現在 蔵書数
				購 入	寄 贈	その他				
本館	閲覧課	227,017	7,625	3,683	3,701	241	0	0	234,642	
	振興課	190,733	3,164	3,144	20	0	0	0	193,897	
中京分館		33,092	1,348	976	372	0	0	33	34,407	
計		450,842	12,137	7,803	4,093	241	0	33	462,946	

注) 宮津・峰山地方分館の蔵書数27,732冊(平9.3.31現在)は、地元市町へ移管のため除く。

○ 障害者用資料(上記蔵書数に含む)

資料	区分	受 入 数	平10.3.31現在
テープ図書		15点 (15巻)	766点 (1,752巻)
大活字本		114冊	1,170冊
点字図書		6タイトル (6冊)	140タイトル (700冊)

分 類 別 冊 数

(平10.3.31現在)

分類	本 館		中京分館		合 計	百 分 比
	閱 覧 課	百 分 比	振 興 課	百 分 比		
0 総 記	9,144	3.9	1,054	0.6	11,597	2.5
1 哲 学 ・ 宗 教	9,473	4.0	2,170	1.1	12,920	2.8
2 歴 史 ・ 地 誌	20,166	8.6	6,437	3.3	29,351	6.4
3 社 会 科 学	37,298	15.9	7,401	3.8	49,006	10.6
4 自 然 科 学	12,437	5.3	4,330	2.2	18,357	4.0
5 工 業	11,634	5.0	10,394	5.4	23,644	5.1
6 産 業	7,065	3.0	2,664	1.4	10,365	2.2
7 芸 術	15,888	6.8	6,227	3.2	24,225	5.2
8 語 学	3,111	1.3	1,050	0.5	4,625	1.0
9 文 学	45,447	19.4	48,386	25.0	112,093	24.2
小 計	171,663	73.2	90,113	46.5	296,183	64.0
児 童 書	37,418	15.9	103,784	53.5	141,202	30.5
文 庫 整 理	2,879	1.2	—	—	2,879	0.6
旧 分 類	8,440	3.6	—	—	8,440	1.8
そ の 他	14,242	6.1	—	—	14,242	3.1
合 計	234,642	100.0	193,897*	100.0	462,946	100.0

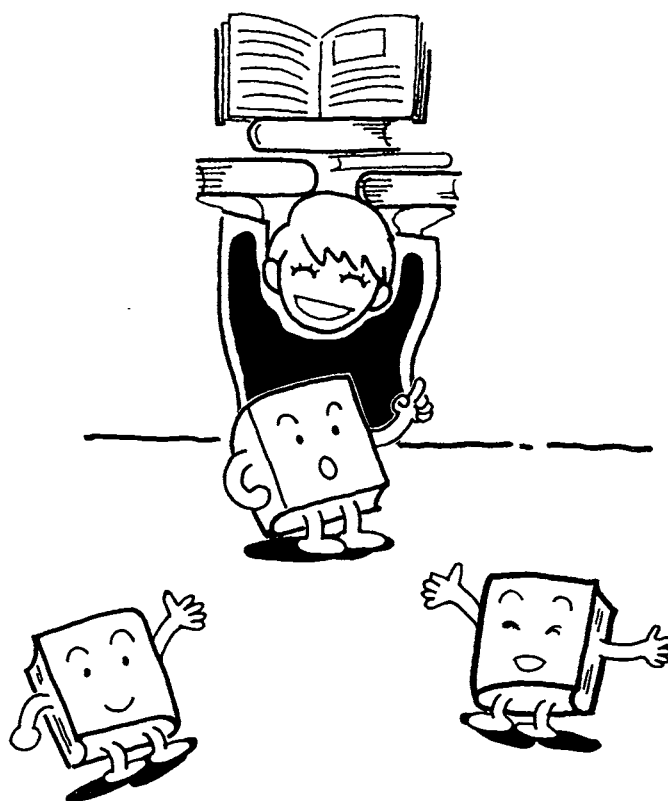
※ 振興課図書のうちに関書館資料広域貸出事業図書111,000冊を含む。

(2) 逐次刊行物（平成9年度）

○ 購入タイトル数

種別	館名	新聞 (官報)	雑誌	計
本館		6	88 (うち点字3)	94
中京分館		6	34	40

○ 寄贈タイトル数（本館） 1,312 種



4. 沿革

- 明治31年(1898) 4月 府立京都図書館御苑内創立
館長 三宅五郎三郎就任
- 〃 6月 業務開始
- 33年(1900) 夜間開館開始
館長 原田千之助異動、中道貫一館長就任
- 36年(1903)10月 巡回図書館(貸出文庫)制度開始
- 37年(1904) 3月 湯浅吉郎館長就任
- 38年(1905) 4月 児童室開設
- 39年(1906) 6月 館外貸与規則制定告示
〃 11月 新館起工式
- 42年(1909) 2月 新館竣工
〃 3月 京都府立京都図書館規則告示
〃 4月 新館開館
- 大正5年(1916) 5月 湯浅吉郎館長退職
〃 10月 北島貞顕館長就任
- 8年(1919) 1月 本館図書分類目録編纂に着手
- 11年(1922) 4月 貸出文庫を増設
- 14年(1925) 3月 児童室閉鎖
- 昭和3年(1928) 3月 帯出規程告示
〃 4月 個人貸出実施
〃 6月 和漢図書分類目録 分類表12冊作製
- 9年(1934)10月 京都府中央図書館に指定
- 15年(1940)11月 北島貞顕館長退職 内藤乾吉館長就任
- 16年(1941) 5月 児童室復活開室
- 22年(1947) 7月 内藤乾吉館長退職 西村精一館長就任
〃 8月 館外貸出廃止
- 23年(1948) 4月 児童室を元貴賓室に移転
〃 9月 読書ルーム開設(河原町丸善京都店地下)
- 24年(1949) 4月 読書相談開始
〃 6月 河原町分館開館(河原町丸善京都店地下)
- 25年(1950) 2月 伏見分館開館(伏見信用金庫2階)

- 昭和25年(1950) 3月 巡回図書館(貸出文庫)廃止
- 〃 6月 宮津地方分館開館(宮津町役場内)
- 〃 7月 綾部地方分館(綾部市立図書館内)及び
峰山地方分館(丹後地方教育局内)開館
- 〃 8月 学生自由閲覧室新設
- 〃 11月 京都府立図書館設置条例公布(条例第62号)
- 26年(1951) 4月 上京分館開館(北区紫郊会館内)
- 〃 9月 本館大閲覧室屋根修理着工 休館
- 〃 10月 本館蔵書一部知恩院倉庫に別置
- 〃 11月 本館大閲覧室安全開架式を実施
- 〃 12月 本館新体制で開館
- 27年(1952) 6月 本館読書相談係設置
- 〃 7月 園部地方分館(園部町立図書館内)
北桑田地方分館(京北町下中)及び
木津地方分館(旧役場内)開館
- 28年(1953) 4月 宮津地方分館移転(宮津市立図書館内)
本館 月曜日休館を実施
- 29年(1954) 2月 伏見分館新築工事着工
- 〃 7月 木津地方分館移転(木津小学校内)
伏見分館庁舎竣工移転
- 〃 9月 京都府立図書館「善本目録」作製
- 30年(1955) 6月 峰山地方分館移転(丹波公民館内)
- 〃 9月 青年学級文庫実施
- 31年(1956) 5月 上京分館移転(桜谷文庫内)
- 〃 9月 河原町分館閉館
- 32年(1957) 6月 中京分館(河原町分館改称)開館(烏丸庁舎内)
- 〃 10月 宮津地方分館移転(労働セツルメント内)
- 35年(1960)10月 中京分館館外貸出実施
- 37年(1962) 9月 峰山地方分館移転(丹波小学校内)
- 38年(1963) 3月 本館読書相談係・学生自由閲覧室・貸出文庫閉鎖
蔵書の一部を府立総合資料館へ移管
- 〃 5月 木津地方分館移転(町民センター内)
- 〃 7月 綾部地方分館移転(市民センター内)

- 昭和38年(1963)10月 西村精一館長転出(京都府立総合資料館長へ)
相馬利雄館長就任
- 〃 11月 本館 日曜・土曜午後・夜間を休館
- 〃 12月 児童室 土・日曜休室
- 39年(1964)1月 本館外装改修工事
- 〃 5月 本館夜間・土曜午後再開(9時まで) 貸出室設置
児童室館外貸出実施 土曜日開室
宮津地方分館移転(宮津市立図書館内)
伏見分館館外貸出実施
- 〃 7月 市内分館 日曜日休館を実施
- 40年(1965)1月 中京分館仮移転(京一商同窓会館)
- 〃 7月 児童室に母親文庫設置
- 〃 9月 府教育委員会基本規則一部改正
教育庁係等設置規程一部改正により図書館に課制実施
- 〃 11月 中京分館移転(京都府中京庁舎内)
- 41年(1966)9月 綾部地方分館閉館
- 〃 11月 園部地方分館閉館
自動車文庫命名式(蜷川知事「あゆみ号」と命名)移動図書館事業開始
- 42年(1967)7月 本館修繕工事
- 〃 9月 貸出室移転再開
- 44年(1969)12月 本館夜間閉館時間(7時)に変更
- 45年(1970)8月 相馬利雄館長退職、荒尾利就館長事務取扱就任・転出
岩崎彰之助館長就任
- 46年(1971)8月 宮津地方分館新宮津市立図書館内に移転
本館貸出室の図書を閲覧室に統合 第2閲覧室開室 貸出方式をブラウ
ン方式に切替
- 47年(1972)4月 岩崎彰之助館長転出 吉川博明館長就任
- 〃 11月 自動車文庫「あゆみ号」の更新
- 48年(1973)4月 上京分館館外貸出実施
- 〃 6月 吉川博明館長転出 庄林二三雄館長就任
- 49年(1974)4月 庄林二三雄館長退職 宮本英男館長就任
- 50年(1975)3月 木津地方分館閉館
身体障害者用 便所・スロープ新設
宮本英男館長退職

- 昭和50年(1975) 4月 布村忠雄館長就任
- 〃 5月 本館（閲覧室・中央カウンター・新聞雑誌室開設）内装工事
本館閲覧室を完全開架式に切替
- 51年(1976) 4月 本館閲覧用目録作成に着手
- 〃 5月 上京分館閉館（51.5.8）
- 〃 6月 京都府図書館等連絡協議会発足、府立図書館に事務局を置く
- 〃 7月 児童室改修工事
- 53年(1978) 3月 本館改修工事（外装・屋根葺替・玄関・防災設備）
本館閲覧用目録整備完了
- 54年(1979) 3月 本館書庫の改修工事
- 〃 4月 国会図書館からの図書貸出制度発足
本館自習室を閉鎖
- 〃 7月 本館・伏見分館の冷暖房工事完了
- 〃 8月 北桑田地方分館仮移転（京北農業協同組合弓削支所内）
- 〃 11月 自動車文庫「あゆみ号」の更新
「専門情報機関要覧」刊行
- 55年(1980) 3月 北桑田地方分館閉館（55.3.31）
- 〃 4月 布村忠雄館長転出 長谷川啓司館長就任
峰山地方分館移転（峰山町中央公民館内）
- 56年(1981) 4月 長谷川啓司館長転出 浜辺一彦館長就任
- 〃 9月 移動図書館用電動集密書架設置
- 〃 12月 伏見分館改修工事
- 57年(1982) 4月 伏見分館宿日直を廃止し警備会社に委託
- 〃 7月 障害者サービス（対面朗読）実施
- 58年(1983) 2月 生涯教育推進事業として読書推進講座実施
- 〃 3月 「京都府の公共図書館」刊行
伏見分館 ブックポスト設置
- 〃 6月 図書館協力貸出本格実施
- 〃 7月 新着図書案内発行
- 59年(1984)12月 連絡協力車試験的運行開始（2コース）
- 60年(1985) 7月 国立国会図書館とのオンライン利用実験実施
- 61年(1986) 8月 京都府教育委員会教育長から「生涯学習社会を展望する京都府の図書館
のあり方」を京都府社会教育委員会議へ諮問

- 昭和61年(1986)12月 昭和61年度全国公共図書館参考事務研究集会開催
12月4日～5日 会場 京都堀川会館
- 62年(1987)10月 国立国会図書館とオンライン実施
伏見分館サービス終了(62.10.31) 伏見分館閉館(63.3.31)
- 63年(1988)3月 「京都府の公共図書館 1987年版」刊行
- 平成元年(1989)7月 浜辺一彦館長死去、上田将館長就任(本庁指導部長兼任)
- 〃 9月 上田将館長退任、林芳男館長就任
- 〃 10月 図書館資料広域貸出事業開始
- 〃 〃 「京都府公共図書館等所蔵 雑誌・新聞総合目録」京都府図書館等連絡協議会と共同刊行
- 2年(1990)3月 京都華頂ライオネスクラブから公用車(ステーションワゴン)の寄贈
- 〃 〃 「点字・録音図書目録(点字版)」刊行
- 〃 4月 連絡協力車事業本格実施
- 〃 6月 機構改革により本館は4課組織に
- 〃 12月 移動図書館事業終了
- 3年(1991)3月 本館模様替内装工事(受付カウンター・新聞雑誌室・休憩室・ロッカー室・点字コーナー配置換)
- 〃 4月 ロッカーを自主管理方式に
- 〃 6月 マイクロリーダプリンターのサービス開始
- 〃 8月 「連絡協力車だより」発刊
- 4年(1992)4月 林芳男館長退任、柴田實館長就任
- 〃 9月 毎月第2土曜日 児童室 午前9時半から開室開始
- 5年(1993)3月 「京都府の公共図書館 1992年版」刊行
- 6年(1994)3月 「京都府公共図書館等所蔵 雑誌・新聞総合目録」京都府図書館等連絡協議会、京都府立総合資料館と共同刊行
- 〃 5月 柴田 實 館長退任
- 〃 6月 高木多喜男館長就任
- 7年(1995)2月 阪神・淡路大震災(1月17日)による本館一部被害の補修・補強工事実施
- 〃 5月 本館老朽化による安全対策のため館内模様替え(事務室の1階への移動等)実施。5月1日から2ヵ月間臨時休館(7月3日再開館)
- 〃 8月 連絡協力車北部コース月2回に運行を拡充。これにより府内全ての市町村へ月2回運行となる

- 平成7年(1995)9月 一般図書室の天井一部損傷による補修工事实施。9月18日から臨時休館
(10月16日再開館)
- 〃 12月 京都府社会教育委員会議が、京都府教育委員会教育長に「生涯学習社会
を展望する京都府の図書館の在り方について(提言)」を提出する
- 8年(1996)3月 平成8年度当初予算に府立図書館整備費を計上
- 〃 〃 高木多喜男館長退任
- 〃 4月 五十嵐一郎館長就任
- 〃 9月 新府立図書館建設基本計画の概要を発表
- 〃 〃 9月補正予算に文化財的観点から壁面(東側前面)を保存しながら、新
築整備するための基本設計費、現存建物記録調査費及び壁面保存の構造
診断調査費等を計上
- 9年(1997)3月 平成9年度当初予算に実施設計費、補強設計費、補強工事費、情報ネッ
トワークシステム詳細設計費、蔵書データ電算入力費、埋文調査費、解
体設計費・解体工事費等を計上
- 〃 〃 宮津・峰山地方分館の閉館(9.3.31)
- 〃 4月 新館整備のため本館を休館(9.4.1～)
- 〃 9月 本館 仮施設(京都市下京区、旧中小企業総合指導所)へ移転完了
- 10年(1998)3月 府立図書館解体工事及び壁面(東側前面)保存工事完了
- 〃 〃 平成10年度当初予算に、新館建設工事費、情報ネットワーク整備費、図
書資料整備費、埋文調査費等を計上
- 〃 〃 五十嵐一郎館長退任
- 〃 4月 西山隆史館長就任(本庁指導部長兼任)
- 〃 5月 西山隆史館長退任
- 〃 6月 小山雄一館長就任

5. 経 費

平成9年度における経費は、次のとおりである。

科目	事 項	金 額	比 率	備 考
図 書 館 費	人 件 費	304,314 ^{千円}	78.41%	
	図 書 館 資 料 費	22,717	5.85	
	図 書	21,243	5.47	○広域貸出事業図書費 1,733千円 含む
	定期刊行物	1,474	0.38	
	そ の 他 経 費	60,973	15.71	
	計	388,004	99.97	
事 務 局 費	そ の 他 経 費	106	0.03	
合 計		388,110	100.00	

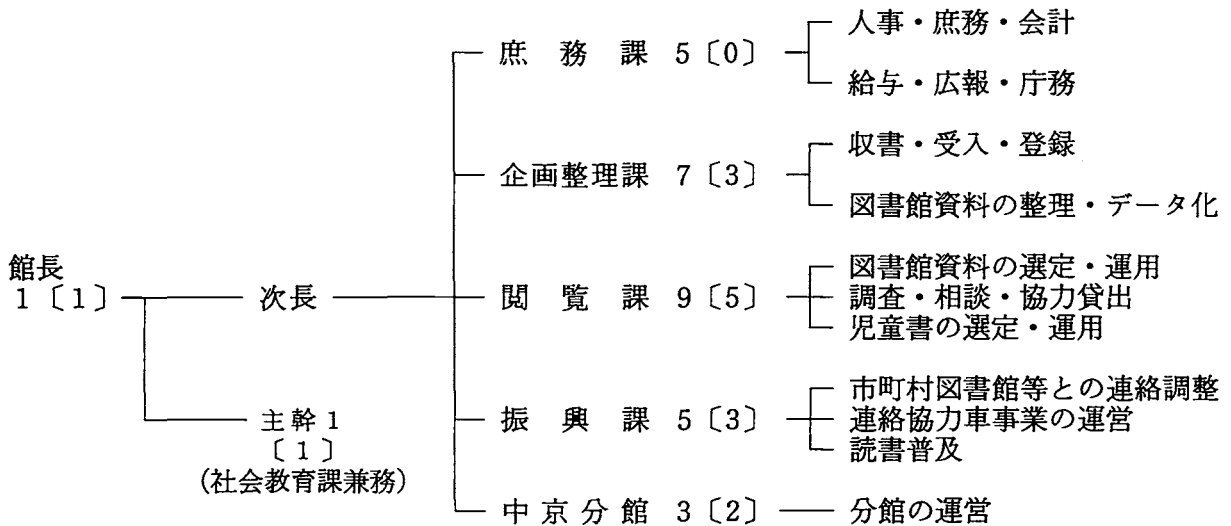
館 別 図 書 館 資 料 費 内 訳

区 分	図 書 費	定期刊行物費	計
本 館	18,010 ^{千円}	938 ^{千円}	18,948 ^{千円}
中 京 分 館	1,500	536	2,036
広 域 振 興 事 業	1,733	—	1,733
計	21,243	1,474	22,717

6. 組織

館長以下事務職員29名、技術職員2名、計31名（司書有資格者15名）である。組織を図示すると次のとおりである。（注〔 〕内は司書有資格者数）

（平10.6.1現在）



7. 施設の概要（平10.4.1現在）

館名	施設の概要
本館	敷地 3,740.26㎡
	建築面積 } 延建物 } 新築整備中 構造 } 建築年 }
	専有面積 158.00㎡
	構造 鉄筋コンクリート造 (府中京庁舎2階)
中京分館 (昭和24年) (6月開設)	建築年 昭和40年
	庁舎の有 京都府

8. 利用案内 (平10.4.1現在)

(1) 所在地一覧

館名	住所	電話
本館	〒600-8888 京都市下京区西七条八幡町31	321-0200(代) (FAX) 325-4351
中京分館	〒604-0964 京都市中京区富小路二条上ル	211-5728 (FAX) 同上

(2) 開館時間

館名	開館日	開館時間
中京分館	月～土	12:00～18:00

(3) 休館日 (中京分館)

- 国民の祝日に関する法律 (昭和23年法律178号) に規定する休日
- 日曜日
- 毎月の月末日
- 年末年始 (12月27日から翌年1月4日まで)
- 特別整理期間 (特に館長の定める期間)

事業概要（平成9年度のまとめ）

平成10年（1998）6月30日発行

発行者 京都府立図書館

〒600-8888 京都市下京区西七条八幡町31

TEL（075）321-0200（代）

FAX（075）325-4351

印刷 株式会社 大気堂

TEL（075）361-2321